

被創造者

神は言う

「生を全うせよ」

木々は言う

「生を全うせよ」

鹿は言う

「何をためらう」

僕は放浪う

空漠たる湖^{うみ}を

故郷を遠く離れ

おお、生を全うするのだ

感じること

この手ですくうこと

創造者になろうなどとは

この喜びを知らぬ者たちに任せるがいい

陽光をすくい上げることができぬ者に

ああ、どうして昼が、そして夜があり得よう

眼下に広がるあの街には

もとより僕を識る者など^い在りはしない

飢え、そして渴え

常に人間の背中に縋り続けた哀れな僕を識る者など！

おお、生を全うせよ

創造を放棄して！

僕にとってのみ意味を持つ生を全うせよ

(1994.1.20)